

西原謙二 にしはら けんじ 實業家、政治家。明治五年六月二日京都生れ、昭和
二十九年八月二十一日歿（八七二—一九五五）。同郷の政治家神輿村常の門
下として政治運動に入り、對露同志會に参加。日露戦争後渡鮮として共
益社を興し、綿絲布取引など日韓経済合作に努めた。また朝鮮總督府と
内正毅、朝鮮銀行總裁勝田千吉等と手紙政策の奔走、世に西原借款と
稱せられた借款を授神瑞政權の供與として有名となる。昭和十一年歸郷
後は農村自治運動の從事。

『豊の七十餘年』西原謙二の傳『村島藩論』昭和二十四年四月五日
京都・雪原村）刊。